

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	武道館管理運営費				
担 当 課 係 名	生涯学習 課		社会体育 係	作成者	猪本晃久
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画の ページ
	基本計画	スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備			
	主要施策	スポーツ施設の整備、管理			97
予 算 費 目	一般 会計	10 款 教育費	6 項 保健体育費	2 目 体育施設費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市武道館条例・仙北市武道館管理規則				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市内の地域住民
事業の目的・意図 （どういう状態にした いのか）	柔道及び剣道の普及振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する。
事業の内容 （どのような業務、活 動を行うのか）	施設の維持管理のほか、老朽化が著しい施設は順次補修整備をしていく。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

	項 目	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績
効果	活動指標	生保内武道館・利用可能日数	日	359	359
		神代武道館・利用可能日数	日	359	359
	成果指標	生保内武道館・利用稼働日数	日	252	224
		生保内武道館・利用者数	人	4,465	4,587
		神代武道館・利用稼働日数	日	266	262
		神代武道館・利用者数	人	3,716	4,506
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	20年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		1,028	1,072	
	財源内訳	国 庫 支 出 金			
		県 支 出 金			
		地 方 債			
		そ の 他			
		一 般 財 源	1,028	1,072	0
	人 件 費 (B)		1,963	2,018	0
	職 員 数		0.3	0.3	
	職 員 平 均 人 件 費		7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト		2,991	3,090	0
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト (円)	—	8,331	8,607	
		—	8,331	8,607	
	市民1人当たりのコスト(円)	—	94	98	

【事務事業の今までの成果】

老朽化が著しく、補修整備をしながら、貸出を続けている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	人員削減により管理体制をどのように方向付けをすればよいか。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	総合体育館の建設・夜の練習で窓を開放するため網戸を設置してほしい。 (夏期)

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	市民の要望に応えながら貸出できる状況を維持し、市民のスポーツ活動を推進する。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	稼働率の高い施設であるが、維持管理を含めた民間委託の導入による財政コストの縮減を図り、今後の事業推進が必要であるとする。

一次評価診断図

